

鳥取

TOTTORI

投資で応援 諏訪酒造

おいしい地酒造りに投資してみませんか。智頭町の酒蔵「諏訪酒造」を応援する「諏訪泉満天星ファンド09」を、東京のファンド会社が募集している。地酒をおいしく熟成させるには2〜3年かかるという、ファンドはコメ購入代金などの運転資金に使われる。

(井石栄司)

ファンド会社 31日まで募集

ファンドを募っているのは東京のベンチャー企業「ミュージックセキユリティーズ」。同社は酒だけでなく、おにぎり店や天然あい染めづくりなどユニークなファンドを手がけている。投資家が損得勘定を抜きに応援するのが同社のファンドの特徴だ。

金融機関は熟成中の地酒を「不良在庫」と見なす傾向があり、仕込んでから資金回収まで数年かかる酒蔵にとって資金繰りが課題だった。このため同社は、醸造用アルコールを使わず酒米と米こうじと水だけでの地酒造りを目指す「全量純米蔵を目指す会」(全国21蔵加盟)と提携。07年から計5回ファンドを募ってきた。同会のメンバーの諏訪酒造は、他の10蔵と提携してファンドを募ったことはあるが、単独募集は初めてだ。

も特典の出資の見学蔵頭智

1口5万円〜1180万円を募集する。上限は10口で出資金とは別に手数料千円が必要になる。ミュージックセキユリティーズによると、利回りは年利ではなく、熟成酒の販売が終了する2013年に販売実績に応じて分配される。同社のシミュレーションでは地酒が5525本(一升瓶換算)以上売れると利回りが生じ、2万2600本すべてが売れると、源泉徴収後に5%程度の利益が得られる見込みだ。

過去5回のファンドで造った酒は現在販売中で、利益分配の実績はまだない。

このほか、出資者への特典として、2012年まで4回にわたり、熟成過程を知ってもらうために計6本の純米酒が贈られる。3千円相当の鳥取の農産物などの詰め合わせセットのプレゼントもあり、抽選で10組を蔵の見学会に招待する。募集の受け付けは今年31日までだが、目標金額になり次第締め切る。申し込みは同会ホームページ(<http://www.zenryojumaike.jp/>)から。

問い合わせはメールのみで受け付ける。諏訪酒造を含む全国11蔵が参加して昨年募集したファンド資金による「ファンド純米酒ひやおろし」の販売会が、今年7日から30日まで三越日本橋本店で開催されている。同店食品第一部和洋酒マネジャーの岡田健さんによると、諏訪酒造は720ミリリットルの瓶を12本用意したが、2日間で完売。300ミリリットルの瓶も、用意した24本の半分が1週間で売れたという。諏訪酒造の地酒について、岡田さんは「酸味がありながらしつかりした味でおいしい。都内でも人気が高いのですぐに売れます」と話していた。



全国11蔵による「ファンド純米酒ひやおろし」の販売会でも人気の「諏訪泉」
東京都中央区の三越日本橋本店